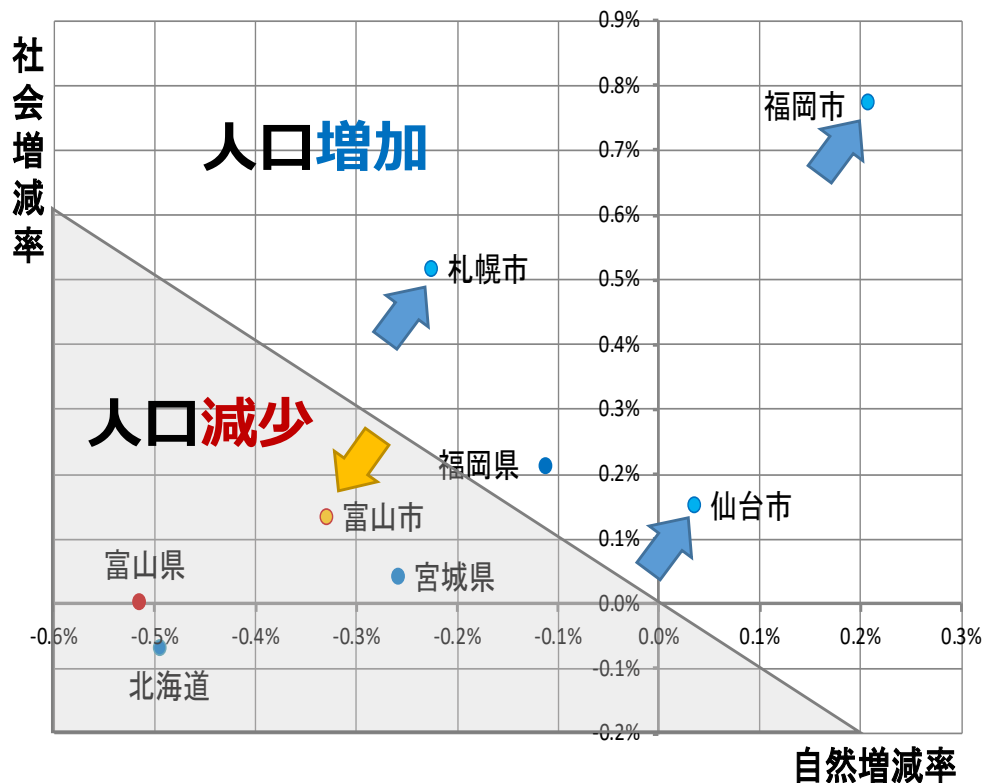




地方あるある

「周囲と違う」だけで目立ち、噂に。
(コミュニティ小さく匿名性低い)

「全員がふつうに結婚して子供を産み育てるべき」というプレッシャー
(伝統的価値観を共有する人が多い、
地方自治体も人口減少対策に懸命)



「故郷は好きだけど、生きづらい」
と街を離れる人や、故郷に帰りたいのに帰りにくい人もいる。



DIVERSITY LOUNGE TOYAMA

<http://www.diversitylounge.jp>



「すべての人」が暮らしやすい街・帰れる故郷へ

報告：ダイバーシティラウンジ富山代表／富山大学人文学部 林夏生

職場や学校でのカミングアウト率
北陸信越 **20.4%** (全国平均 **27.6%**)
親へのカミングアウト率
北陸信越 **16.7%** (全国平均 **22.0%**)

クローゼット傾向の強さ

「自分の同僚が同性愛者だったら嫌だ」
北陸 **59.7%** (全国平均 **41.9%**)
「自分の子どもが同性愛者だったら嫌だ」
北陸 **80.6%** (全国平均 **72.4%**)

身近な同性愛者等への不寛容さ

関係ある？

「多くの人にはカミングアウトしていないけれど、社会に伝えたいことがある」という北陸出身・在住の方々から、写真とメッセージがたくさん寄せられました。イベントのたびに展示しています。



写真パネル展 “CLOSET IN HOKURIKU”

地方あるある

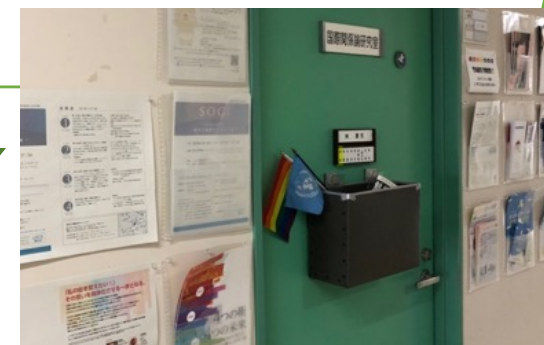
みんなが顔見知りの小さな町（小規模な学校も同じ）では、匿名性が低く、うわさが広まりやすい



「LGBTの人々のための拠点」があっても、「当事者バレ」（または、噂になること）がこわくて行きづらいですよ…

工夫したこと

- 他団体の先行例から多くを学んだ
- セクシュアリティだけでなく、いろんな種類の《多様性》を扱う
- パンフレットやポスター類を、建物（部屋）の中だけではなく、外にも配置する
- 匿名性を保てるインターネットも上手に活用



1. 活動拠点づくり in 富山

結果はいかに？

- 廊下のパンフ、結構な勢いで減る
- 卒業生「拠点できて嬉しかった」
- 他の拠点等とのネットワーク → 県内の他団体、地元メディア、LGBT支援北陸地域団体会議（北陸4県）

- 研究室前の廊下でパンフ等を配置、「自由にお取りください」
- SNS・ブログで情報発信/受信
- 研究室内に《多様性ライブラリ》を設置、学生等に部分開放

できたこと！

地方あるある

イベントしても、
人こないのでは…



工夫したこと

- 性の多様性について知る機会（講演会、授業等）を積極的に提供 → 「LGBTコミュニティの人たちとお話をしたい（けれど機会がない）」という声が寄せられはじめる
- 地元・近隣地域のLGBTコミュニティと、交流・連絡をかさねて信頼関係を構築
- イベント開催に先立ち、プライバシーや自己決定権を守るための「安心ルール」（グランド・ルール）を徹底して周知



2. 誰もが安心して参加できるイベント

結果はいかに？

LGBTコミュニティの中か外かを問わず、多くの参加者が集まる。「いろんな人と話せてよかった」「また来たい」



セクシュアリティにかかわりなく、話したいこと／聞きたいことがある人たちが参加して、やわやわ（ゆっくり）話せる「やわカフェ」を開催

できたこと！

地方あるある

この街にもLGBT(Q)の人々が暮らしていること、中には困難に直面している人もいることに、地方の行政がなかなか関心を示してくれません…もしかして「いない」と思われてる？



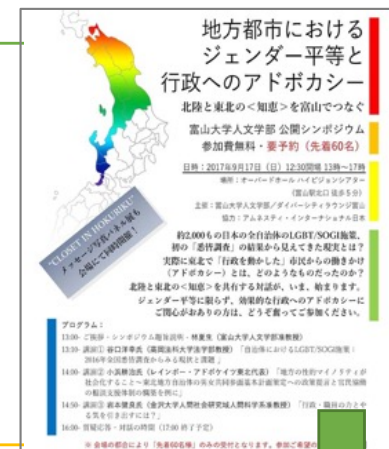
工夫したこと

- 地元メディア、他団体との協力、パブコメ応募等を通じて「ここ（この町）にいます！」と伝え続ける
- 地域のニーズの把握につとめる
- 他地域の団体と連携して情報を共有

3. 地方自治体とのつながりづくり

結果はいかに？

- 行政との持続的な対話の始まり
- 県議会への要望が「富山県民男女共同参画計画＜第4次＞」に反映される（県レベルの計画がSOGIに言及した、北陸3県で最初の例となる）

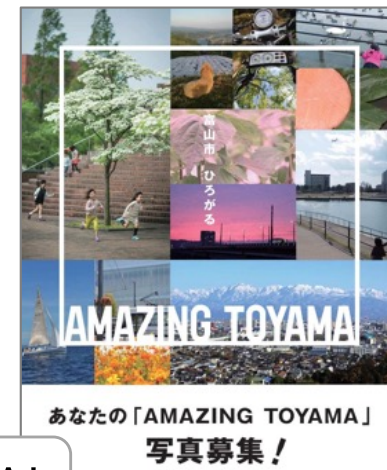


- 地元紙を見た行政担当者から、初の市民向け講座の依頼
- ダイバーシティラウンジ富山、レインボーハート富山、アムネスティ・インターナショナル日本の3団体共同で、県議会に要望書を提出

できたこと！

現状、そして残された2つの課題

対外的・対内的な「肯定的イメージ」の発信・強化は
観光振興・地域活性化に必要



課題①



声をあげづらい
人々が「いないこ
と」にされがち

SAY! AMAZING TOYAMA!

YES! AMAZING TOYAMA!

地方の行政

多くの人々は
「暮らしやすい」

「暮らしやすさ」「幸福度」調査で
富山はしばしば上位にランクイン

悪循環

困難や偏見を
解消するための
仕組みが不十分

「困っている私
がここにいる」
と声をあげるの
が難しい

課題②

「生きづらい」
少数の人々

人口流出

「故郷が好きなのに… 戻りたいけど…」

「すべての人」が暮らし
やすい街・帰れる故郷
にするには？